

科目名	特別活動指導法		科目コード	5004	
開講学科	教職課程	単位数	2	形態	講義
教員名	田中圭一				
授業の目的及びテーマ					
<p>学校における様々な集団活動を通して、課題の発見や解決を経験することで、自らが属す集団に貢献したいという意欲・態度と、そのためのスキルを身につけることを目標にする。受講生には、その具体的な実践の場である学級活動、生徒会活動、学校行事を通じて育成すべき資質・能力を知って特別活動への実践的な姿勢と企画力をつける。</p>					
授業概要					
<p>①新学習指導要領改訂の背景と求められているものを理解する。②特別活動で育てる資質・能力。③学級活動・生徒会活動・学校行事のカリキュラムマネジメントについて。④具体的な指導計画を作る。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回：特別活動の指導要領上の位置付けと教育目標を理解する。① -1 第 2 回：新学習指導要領の問題意識を共有して、特別活動が必要とした学習過程の理解。① -2 第 3 回：改訂の中心となる「社会に開かれた教育課程」について意義と内容を理解。② -1 第 4 回：新学習指導要領改訂による特別活動で育てたい資質・能力の具体について理解する。② -2 第 5 回：集団活動の課題を設定するために、特別活動の「見方・考え方」を理解する。② -3 第 6 回：特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の理解。② -4 第 7 回：特別活動の導きになるのが、カリキュラムマネジメントであることを理解する。② -5 第 8 回：特別活動と各教科等との双方向の関係について理解する。② -6 第 9 回：学級づくりを通しての人間活動の築き方等を学ぶ。学級活動の目標について理解する。③ -1 第 10 回：課題解決に向けたスキル獲得について情報機器を活用して学び、プロセスを理解する。③ -2 第 11 回：居心地の良い学級作りについて、具体的な事例を考察する。③ -3 第 12 回：協働的にすすめられる特別活動である生徒会活動の「活動」の意義について理解する。③ -4 第 13 回：ボランティア活動等の社会参画は、社会に開かれた教育課程について考察する。③ -5 第 14 回：感動を共有できる学校行事の指導案作りについて考察し、指導案を作成する。③ -6 第 15 回：望ましい学級作りについて身近な課題を設定し、指導案に沿って授業展開を考察する。④</p>					
テキスト	「特別活動」 折出健二（学文社）		参考文献	「平成 29 年改定中学校教育課程実践講座特別活動」城戸茂、島田光美、美谷島正義、三好仁司編著（ぎょうせい）	
評価方法：					
課題 2 課題と試験により評価する					